

◆看護師などの大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書

意見案第1号

看護師などの大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を
求める意見書

長寿世界一を誇る日本の医療は、長年にわたる社会保障費抑制政策の下でも、医師、看護師などの懸命な努力で支えられてきた。

しかし、医療現場は、長時間・過密労働に加え、医療技術の進歩や、医療安全への期待の高まりなどで、看護職員などの労働環境は厳しさを増し、離職者も多く深刻な人手不足になっている。医療現場の実態はかつてなく過酷になっており、全国各地で医師や看護師などの不足が深刻化している。

看護師など夜勤交代制労働者の労働条件を抜本的に改善し、人手を大幅に増やして、安全・安心の医療・介護を実現することが大切になっている。医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、国民が安心して暮らしていける制度が求められている。

よって、政府においては、看護師などの大幅増員を実現し、安全で行き届いた医療・看護・介護の拡充を図るため、次の事項について実現するよう強く要望する。

記

- 1 ILO看護職員条約に基づき、看護師など夜勤交代制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とすること。
- 2 医療、社会保障予算を先進国(OECD)並みに増やし、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと。
- 3 国民(患者・利用者)の負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年12月17日

北海道遠軽町議会

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣